

この「町会のお宝・自慢」紹介コーナーも開始から1年が経過し、今回で13回目です。今号では、地域のランドマークである亀井町の「赤門」、つい先日栃木県の文化財指定を受けた大祝町の「天明鋳物鋳造資料」、山車も出て盛大に催される閑馬下・上の「閑馬八坂神社夏祭り」、初夏の風物詩である上仙波の「源氏蛸と平家蛸」などを紹介します。

佐野地区

佐野地区は佐野市の中央南部に位置し、佐野駅周辺の25町会からなります。

大町 《総合福祉施設「どんぐり」》

所在地：大町2751番地 1

この施設は、中心市街地に障がい者も健常者も地域のお年寄りも、気軽に利用できる総合福祉施設を作ろうということで、薬局の空き店舗を利用して平成22年4月24日オープンし、一年が経過しました。喫茶室は、憩いの場としてはもちろん、学生たちにもたくさん来てもらえるような明るい雰囲気を醸し出しています。旧国道50号に面した広場では、定期的に町の商店街をイメージしたさまざまなイベントを催すとともに、最近スタートした「まちの駅ネットワークさの」にも加盟し、おもてなしの心を発信しています。

大町ではほかに、勤皇の志士出流天狗殉難碑を紹介いただきました。



亀井町 《赤門》

所在地：亀井町2636番地 徳雲寺

いわれや由緒は不明ですが、遠くからでもすぐにわかる赤い門です。門をもつ徳雲寺は曹洞宗のお寺で、昭和9年の書物に寺の赤門という文脈があることから、かなり以前からの赤門であることが推測されます。赤門といえば、国の重要文化財に指定されている東京大学のものが有名で、学問とかかわりがあるようなイメージですが、お寺に赤門があることは、その寺格が高いことを意味しているともいわれており、徳雲寺も例にもれず、市内はもちろん、近隣市町にもその名が知られるお寺であるとのこと。

亀井町ではほかに、天明鋳物工房を紹介いただきました。



金屋下町 《金屋稲荷大明神》

所在地：金屋下町2630番地

この神社は正一位稲荷神社ともいい、伏見稲荷大社の祭神を分祀したものであるとされています。約340年前に現在地に建てられたとのこと。その後も地元の守り神として崇められ、商売繁盛や家内安全のご利益があるとされてきました。稲荷神社といえば赤い鳥居と白い狐がシンボルとされており、お稲荷さんと親しみをこめて呼ばれることもあり、現在も油揚げをお供えしていく人がいるというほど地域に愛されている神社です。今でも年に2回、3月上旬と10月中旬にお祭りを催しており、町内の人たちが賑わいます。お祭りは2日間開催され、2日目に神事が執り行われます。



大祝町 《天明鋳物鋳造資料》

所在地：大祝町2398番地

元佐野市指定無形文化財の技能保持者であった先代の故若林彦一郎氏が、千年以上の歴史があるとされている佐野天明鋳物の、江戸時代末期からの資料などを積極的に収集・保存し、現在も若林家に保存されています。天明鋳物の製造過程にかかる一連の鋳造資料だけでなく、その他関連の資料もまとめて保存されており、その数と種類は全国的にも貴重なものです。平成20年9月25日に佐野市の、平成23年3月30日には栃木県の、それぞれ有形民俗文化財に指定されました。

大祝町ではほかに、カトリック佐野教会、銅像阿弥陀如来座像、八坂神社などを紹介いただきました。



新合地区

新合地区は佐野市の中央西部に位置し、足利市と境を接する6町会からなります。

閑馬下・上 《閑馬八坂神社夏祭り》

所在地：閑馬町1095番地付近

閑馬下・上町会では、現在6台の山車をいつでも巡行できる状態に保存しており、地元の八坂神社の夏祭りの際に披露しています。時代の移り変わりとともに山車も変化しており、明治時代の中ごろから山車を手作りの花や提灯、垂れ幕などで飾り付けるようになり、昭和に入って照明もロウソクから車のバッテリーに変わりましたが、地元の祭りに対する愛情は今も変わらず、山車もお祭りも大切に受け継がれています。11月中旬には閑馬里山祭りも催されます。

また、祭り囃子の継承にも数年前から取り組んでおり、地元の若い人たちを中心に、月に2回、講師を頼んで練習しています。



下彦間下 《大塚山正光寺》

所在地：下彦間町2031番地

非常に歴史のあるお寺で、天正13年(1585)に須花峠の戦いで戦死したとされる当時の唐沢山城主、佐野宗綱のお墓があります。また、敷地内には唐沢山城の出城の跡が残っているなど、この地が要衝であったことを示しています。敷地内の草木も手入れが行き届いており、目の前には田園が広がり周辺の見晴らしも格別です。ほかにも、佐野市の有形文化財(考古資料)に指定されている石造層塔光明真言供養塔や、栃木に初めてイチゴの苗を持ち込んだという、先々代の和尚の墓碑などもあります。

下彦間下ではほかに、カタクリの群生地を紹介いただきました。



常盤地区

常盤地区は佐野市の北東部に位置し、栃木市、鹿沼市と境を接する9町会からなります。

上牧 《牧親水公園》

所在地：牧町地内 秋山川沿い

牧地区と柿平地区の境にある親水公園です。瀬戸内橋から南に入ったところにあります。春には川の土手に植えてある桜が咲き誇り、夏場は親水プール(ジャブジャブ池)で遊ぶ子どもたちで賑わいます。平時もゲートボールを楽しむ地域の人たちも集う、自然と触れあえる公園です。ちなみに、牧地区全体のお宝・自慢として「字名」も紹介いただきました。地区の小字にそれぞれ「明通」「治通」「九通」「年通」「地通」「租通」「改通」「正通」などと名前が付いており、それをつなげると「明治九年地租改正」となるというもので、他には無いユニークなお宝・自慢でした。

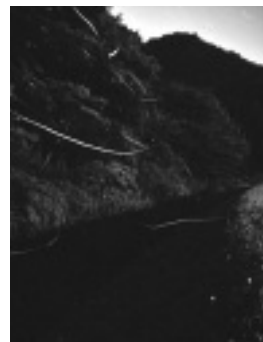


上仙波 《源氏螢と平家螢》

所在地：仙波町地内 仙波川沿い

源氏螢は、一時期農薬の影響からか数が減ってしまいましたが、最近になってまた数多く飛び交うようになりました。光の尾は5m程度に感じられます。平家螢も5年ほど前から見られるようになりました。光の尾は1m程度と短めです。源氏螢は6月中旬から下旬、平家螢は7月上旬から中旬にかけて見ることができます。共に、外部から養殖されたものを持ち込んだのではなく、自然に繁殖したものだそうです。これも豊かな自然とそれを守る地域の活動が結びついた、まさにお宝・自慢といえるでしょう。

上仙波ではほかに、仙波のそば、そばの花と彼岸花などを紹介いただきました。



～名刺サイズ、二つ折り観光パンフレットを新たに作成しました。ご希望の方は下記へご連絡ください～

▶お問い合わせは、観光立市推進室 ☎(27)3012